# NORM 操作マニュアル

Ver. 2.0

# 改版履歴

版数	日付	改訂内容
1.0		新規操作マニュアル作成
2.0	2016/1/24	NORM Ver2.0.0 変更点の修正

# 目次

1.	帳票	作成の流れ	- 1 -
2.	基本	操作	- 2 -
	2.1	起動、終了、画面サイズについて	- 2 -
	2.2	画面について	- 4 -
	2.3	入力の仕方	12 -
2.5	3.1 フ	C力欄	12 -
2.3	3.2	ドロップダウンの選択	16 -
2.3	3.3 =	チェックボックスの選択	17 -
	2.4 翁	編集画面について	19 -
2.4	4.1 絠	扁集画面	19 -
2.4	4.2	ドロップダウンの編集	20 -
	2.5	基本的な操作について	25 -
2.8	5.1 亲	所規作成	25 -
2.8	5.2 潁	扁集	26 -
2.8	5.3 肖	训除	28 -
2.8	5.4 帳	· 票を作成する	30 -
2.	5.5 帳	・ ・ ・	32 -
3.	あら	かじめ設定する項目	33 -
	3.1	没定	33 -
	3.2 l	ま場	36 -
	3.3 ₹	重苗	38 -
	3.4 🖠	資材	42 -
	3.5 方	<b>施設</b>	45 -
	3.6 柞	幾械・器具 <u>-</u>	47 -
4.	育苗	管理記録の作成	49 -
5.	生産	管理記録の作成	59 -
6.	収穫	管理記録の作成	68 -
7.	格付	管理記録・出荷管理記録の作成	74 -
8.	JAS	マーク管理記録の作成	83 -
9.	調製	管理記録作成の作成	88 -
10	. 出屆	車格付管理記録の作成	94 -
	10.1	入庫	96 -
	10.2	出庫・格付・出荷	98 -
11	. 補具	b機能 1-	01 -
	11.1	一括入力について 1	01 -
	11.2	簡単入力について1	10 -

11.3	複数種類の JAS マーク入力 114 -
11.4	編集画面からのマスタ編集 116 -
11.5	資材使用制限 119 -
11.6	使用・不使用の切り替え
11.7	バックアップ・復元 126 -
11.8	キーボード操作 130 -
11.9	記録期間一括入力
11.10	10a 換算の初期値設定 132 -
11.11	調製記録 132 -
11.12	格付実績 133 -
11.13	データ取り込み機能 134 -
11.14	格付総量について146 -
11.15	グループ管理について147 -
11.16	収穫記録の一括管理150 -

# 1. 帳票作成の流れ

帳票は下図のように、①マスタ、②生産行程管理、③収穫管理の順番で作成します。



作成される帳票は以下の12種類です。

① マスタ … ほ場 (36ページ)

種苗 (38ページ)

資材 (42ページ)

施設 (45ページ)

機械・器具(47ページ)

② 生産行程管理 … 育苗管理記録 (49ページ)

生産管理記録(59ページ)

③ 収穫管理 … 格付出荷管理記録 (74ページ)

JAS マーク管理記録 (83 ページ)

調製管理記録(88ページ)

出庫格付管理記録(94ページ)

格付実績報告書(133ページ)

※必ず①マスタの帳票類から作成してください。

ほ場、種苗、資材、施設、機械・器具に登録した内容をもとに、②生産行程管理の育苗管理記録や生産管理記録を作成します。

# 2. 基本操作

#### 2.1 起動、終了、画面サイズについて

#### (1) 起動の仕方

アプリケーションの起動の仕方は2種類あります。

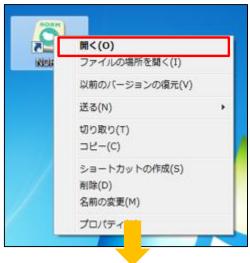
# 【1つ目の方法】

インストール後にデスクトップ上に表示されている NORM のアイコンをダブルクリックします。



### 【2つ目の方法】

インストール後にデスクトップ上に表示されている NORM のアイコンを右クリックして、「開く」を選択します。



ダブルクリック後、または右クリックで「開く」を選択した後に、下図のようにアプリケーションが起動します。



#### (2) 終了の仕方

アプリケーションを終了させる場合は、画面右上にある「×」ボタンを押します。



#### (3) 画面のサイズ変更

- ① 画面の最小化 … 画面右上にある 💷 ボタンを押します。
- ② 画面の最大化 … 画面右上にある ボタンを押します。

#### 2.2 画面について

各画面は、下図のように①~④までの4つに分かれています。



### ① メニュー (横)

基本的には「ホーム」「作物管理」「生産管理一括入力」「収穫管理」「格付記録」「出荷記録」「JASマーク管理」「マスタ」「設定」の項目が表示されます。各項目を選択すると、画面が変わります。

※設定画面の栽培品目で選択した作物によって、表示される項目が変わります。他に、「出庫格付管理」「調製記録」の項目があります。

#### ② メニュー (上部)

画面下部には、新たに記録(行)を作成する「新規」ボタンや、既にある記録(行) を編集する「編集」ボタン、記録(行)を削除する「削除」ボタン等があります。前の 画面に戻りたいときは、「戻る」ボタンを押します。

#### ③ 画面上部

画面上部には、「画面名」が表示されます。他にも、「面積」や「記録期間」といった 補足情報が表示されます。

# ④ 表

画面中央の表には、入力した情報が表示されます。初回時や未入力の場合は、上図のように「No data to display」と表示されます。表には、いくつかの機能があります。

#### (1) 並べ替え

下図のように、表の上部には各列にどのような情報が表示されるかが示されています。

作業日 💠	作業内容	資材名	数量	単位	機械名	洗浄	備考
14/06/29	施肥	ぼかハッスル(10倍希・	10			-	×
14/06/27	除草				トラクター	-	×
14/06/24	片づけ					-	×
14/06/16	<u> </u>				トラクター	_	×

上下の矢印 がある項目は、「昇順」「降順」で並べ替えることができます。 日付の項目であれば、「新しい日付順」と「古い日付順」で記録(行)を表示させることができます。

作業内容を並べ替える場合は、並べ替えたい項目を押します。 ここでは「作業内容」を押します。

作業日 💠	作業内容	資材名 ⇒	数量	単位	機械名	洗浄	備考
14/06/29	* "	ぼかハッスル(10倍希…	10			-	×
14/06/27	[ [				トラクター	-	×
14/06/24	-3/-					-	×
14/06/16	押下				トラクター	-	×
14/06/09	収穫(50kg)					-	×
14/06/03	収穫(50kg)				トラクター	-	×
14/05/27	施肥	有機アグレット666(…	25		トラクター	-	×
14/05/17	播種				播種機	-	×
14/05/17	散水					-	×
14/05/16	耕耘				耕運機	-	×
14/05/15	除草				トラクター	0	×
14/05/14	散水					-	×

下図のように、作業内容が昇順で並べ替えて表示されます。 昇順に並べ替えた場合は、上向きの矢印 **ふ** が表示されます。

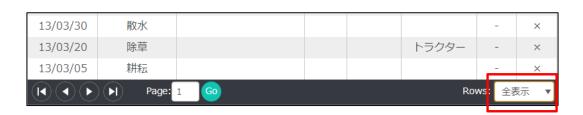
作業日	作業内容。	資材名	数量	単位	機械名	洗浄	備考
14/06/09	収穫(50kg)					-	×
14/06/03	収穫(50kg)				トラクター	-	×
14/05/17	播種				播種機	_	×
14/05/17	散水					-	×
14/05/14	散水					-	×
14/04/15	散水					-	×
13/03/30	散水					-	×
14/06/29	施肥	ぼかハッスル(10倍希…	10			-	×
14/05/27	施肥	有機アグレット666(…	25		トラクター	-	×
14/04/30	施肥	ぼかハッスル	30			-	×
14/04/22	施肥	サンキョー医王素(20…	6.66	L/10a	トラクター	-	×
14/04/09	施肥	ぼかハッスル			トラクター	-	×
13/04/10	施肥	ぼかハッスル			トラクター	_	×

もう一度「作業内容」を押すと、「降順」に並べ替えることができます。 降順に並べ替えた場合は、下図のような下向きの矢印が表示されます。



# (2) 表示件数

表に表示できる記録(行)は、表右下のドロップダウンで変更することができます。初回表示時には、下図のように「全表示」が表示されており、全ての記録(行)が表示されます。



右図のように、「10」「30」「50」「全表示」とあり、 それぞれ 10 件、30 件、50 件、全件を表示すること ができます。



#### (3) ページめくり

表示件数を 10 件、30 件、50 件にした場合、表に表示される記録(行)の数に は限りがあります。

記録(行)を増やしていくと、表に表示されない古い記録(行)が出てきます。 その場合は、ページをめくることで古い記録(行)を表に表示させることができ ます。

では、3ページ分の記録(行)がある状態でページをめくってみます。 表の下部には以下の項目があります。



ページのめくり方は以下の5通りです。

- ① 次のページをめくる
- ② 前のページに戻る
- ③ 最後のページを表示する
- ④ 最初のページを表示する
- ⑤ ページ番号を指定してページを表示する

では、それぞれのめくり方を確認していきます。

① 次のページをめくる次のページを見たい場合は、下図の を押します。



作業日 →	作業内容	資材名	数量	単位	機械名	洗浄	備考
14/05/15	除草				トラクター	0	×
14/05/14	散水					-	×
14/04/30	施肥	ぼかハッスル	30			-	×
14/04/23	片づけ					-	×
14/04/22	施肥	サンキョー医王素(20…	6.66	L/10a	トラクター	-	×
14/04/15	散水					-	×
14/04/09	施肥	ぼかハッスル			トラクター	-	×
14/04/09	除草				トラクター	-	×
13/04/18	片づけ					-	×
13/04/10	施肥	ぼかハッスル			トラクター	-	×
(I)(I)(I)	Page:	2 <b>G</b> 0			Ro	ws: 10	*
$\cup$ $\cup$ $\cup$							
		$\overline{}$		7			
		Page: 2	Go				

上図のように、何ページ目を表示しているかは、表下部の左側で確認することができます。

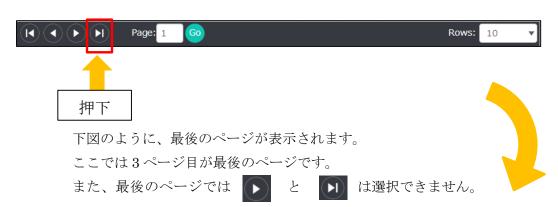
② 前のページに戻る 前のページに戻りたい場合は、下図の **4** を押します。





ここでは 2 ページ目の前のページに戻ったので、上図のように 1 ページ目が表示されています。

③ 最後のページを表示する 最後のページを表示する場合は、下図の **ト** を押します。



作業日 →	作業内容	資材名	数量	単位	機械名	洗浄	備考
13/03/30	散水					-	×
13/03/20	除草				トラクター	-	×
13/03/05	耕耘					-	×
	Page: 3	60				Rows: 1	0 🔻

④ 最初のページを表示する 最初のページを表示する場合は、下図の ★ を押します



作業日	作業内容	資材名	数量	単位	機械名	洗浄	備考
14/06/29	施肥	ぼかハッスル(10倍希釈)	10			-	×
14/06/27	除草				トラクター	-	×
14/06/24	片づけ					-	×
14/06/16	除草				トラクター	-	×
14/06/09	収穫(50kg)					-	×
14/06/03	収穫(50kg)				トラクター	-	×
14/05/27	施肥	有機アグレット666(1…	25		トラクター	-	×
14/05/17	散水					-	×
14/05/17	播種				播種機	-	×
14/05/16	耕耘				耕運機	-	×
	Page: 1	Go			Ro	ws: 10	*

⑤ ページ番号を指定してページを表示する ページ番号を指定してページを表示する場合は、下図の入力欄にページ番 号を入力します。

ここでは、最初のページから2ページ目を表示させてみます。



入力欄に「2」を入力して「Go」ボタンを押します。 ※ページ番号を入力する際は、必ず半角数字で入力してください。



作業日 ▼	作業内容	資材名	数量	単位	機械名	洗浄	備考
14/05/15	除草				トラクター	0	×
14/05/14	散水					-	×
14/04/30	施肥	ぼかハッスル	30			-	×
14/04/23	片づけ					-	×
14/04/22	施肥	サンキョー医王素(20…	6.66	L/10a	トラクター	-	×
14/04/15	散水					-	×
14/04/09	施肥	ぼかハッスル			トラクター	-	×
14/04/09	除草				トラクター	-	×
13/04/18	片づけ					-	×
13/04/10	施肥	ぼかハッスル			トラクター	-	×
	▶I Page:	2 <b>G</b> 0			Ro	ws: 10	*

#### 2.3 入力の仕方

入力の仕方は、主に以下の3つです。

- 入力欄
- ② ドロップダウン
- ③ チェックボックス

# 2.3.1 入力欄

入力欄では、「文字」と「数値」、そして「日付」を入力することができます。

#### 2.3.1.1 文字の入力

文字(全角・半角英数字を含む)を入力できる欄は、下図のような入力欄です。

* 作物:	
品種:	

入力欄を押して、キーボードから入力することができます。

* 作物:	ジャガイモ
品種:	キタアカリ

また、下図のように入力欄に入力すべき内容がヒントとして表示されている場合 もあります。

新規追加	_

#### 2.3.1.2 数値の入力

数値を入力する欄には、下図のように上下の矢印があります。 上下の矢印を選択して数値を入力することができます。 入力欄を押して直に数値を入力することも可能です。



また、入力する数値の位についても注意が必要です。

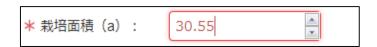
#### ① 整数のみ入力できる場合

上下の矢印で数値を入力する場合は問題ありませんが、キーボードから少数を入力した場合、下図のように表示されます。



#### ② 少数第1位まで入力できる場合

上下の矢印で数値を入力する場合は問題ありませんが、キーボードから少数第2位以下を入力した場合、下図のように表示されます。



#### ③ 少数第2位まで入力できる場合

上下の矢印で数値を入力する場合は問題ありませんが、キーボードから少数第3位以下を入力した場合、下図のように表示されます。

	数量:	13.334	
--	-----	--------	--

#### 2.3.1.3 日付の入力

日付を入力する欄には、下図のように薄いグレーの文字で「yyyy/mm/dd」と表示されています。これは、例えば「2014/04/01」と入力できることを表しています。

★ 管理開始日: yyyy/mm/dd

また、場合によっては今日日付が自動的に表示されている場合もあります。 ここでは、今日日付が自動的に表示されている場合を例にしてみます。

日付の入力欄を押すと、下図のようなカレンダーが表示されます。

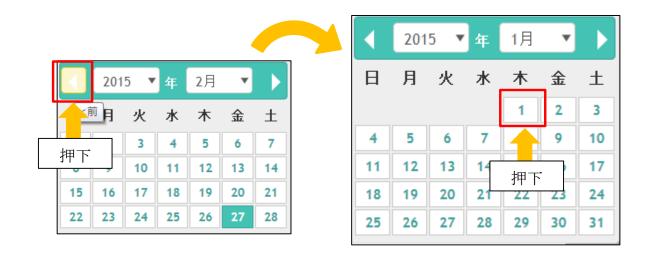
生産管理記録					>	<	
						1	単位
* 作業日:	2015	/02/2	27				
* 作業内容:	1	201	5 ▼	年	2月	٧	
種子・苗/資材名:	日	月	火	水	木	金	±
数量:	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
機械名:	22	23	24	25	26	27	28
* 洗浄:	-			•	•]	П	
備考:						-1	
						-1	
				Oł	<		

表示されるカレンダーは今月のものです。

次月や前月を選択する場合は、年月が表示されている部分の右端の矢印(次月)や左端の 矢印(前月)を押します。

※マウスを持っていくと下図のように、端の色が変わります。

ここでは、2015年1月1日をカレンダー上で選択して入力してみます。



日付の入力が完了すると、下図のように表示されます。

\*作業日: 2015/01/01

# 2.3.2 ドロップダウンの選択

入力項目のなかには、ドロップダウンで選択できる項目があります。 ドロップダウンできる項目には、下向きの矢印 ▼ があります。 下図の例では、「作業内容」「種子・苗/資材名」「機械名」「洗浄」の項目です。



作業内容のドロップダウンを押すと、作業内容の候補が表示されます。 ここでは、「施肥」を選択して入力します。



# 2.3.3 チェックボックスの選択

チェックボックスは、該当する場合は押してチェックを付けてください。



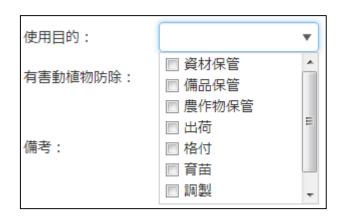


チェックボックスを選択すると、下図のようにチェックが付きます。



また、下図のように、1 つの入力項目に複数のチェックを付けることができる場合があります。

入力項目を押すと、複数のチェックボックスが表示されます。



この場合、下図のように複数のチェックをつけることができます。



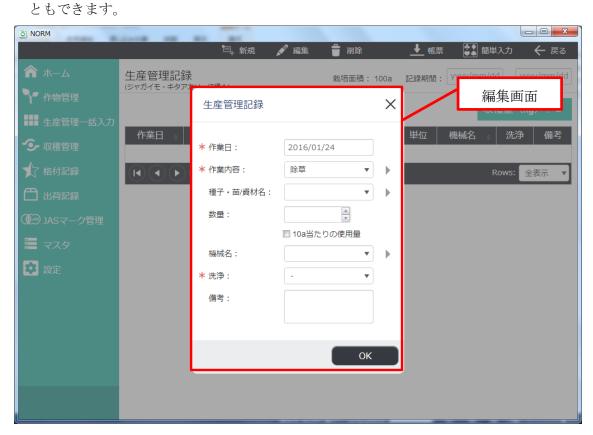
入力項目に表示される場合は、下図のように列挙して表示されます。

使用目的: 資材保管,備品保管,農▼

#### 2.4 編集画面について

#### 2.4.1 編集画面

記録(行)を作成、編集する際に、下図のような「編集画面」が表示されます。 編集画面を表示するには、画面下部の「新規」ボタンを押すか、あるいは記録(行)を選択して「編集」ボタンを押します。または、記録(行)をダブルクリックして表示するこ



編集画面を閉じる際には、右上の「×」ボタンを押します。



# 2.4.2 ドロップダウンの編集

編集画面には、いくつかの入力項目があります。

なかでも、ドロップダウンにはあらかじめ設定した選択肢が表示される場合があります。

下図は、作業内容の項目に「除草」「施肥」「収穫」が設定された状態です。 編集画面から、作業内容の新しい選択肢を増やすことができます。



作業内容のドロップダウンの横には、薄いグレーの矢印があります。



この矢印にマウスを持っていくと、下図のように色が変わるので、選択します。



矢印を選択すると、下図のように、編集画面の右側に新たな画面が出てきます。

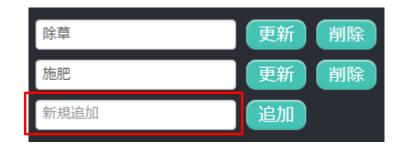


右側の画面では、ドロップダウンの選択肢を追加、編集、削除することができます。

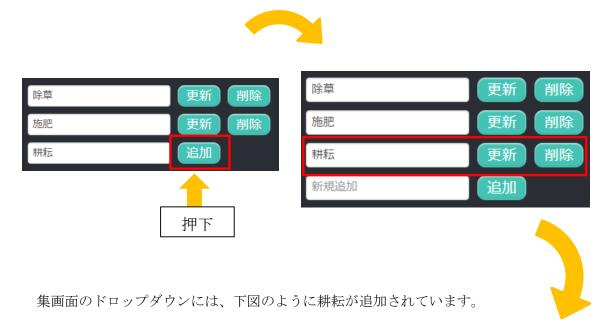
#### 追加

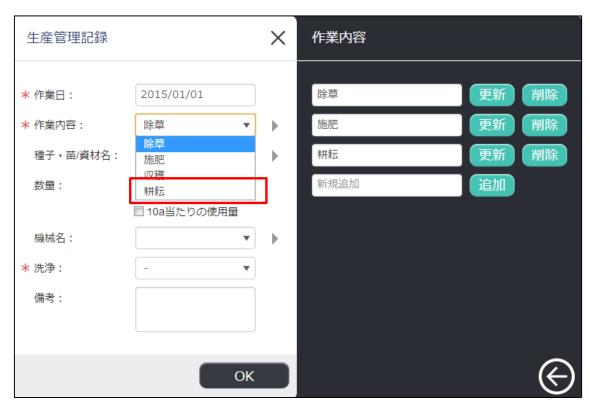
作業内容に「耕耘」を追加します。

薄いグレーの文字で「新規追加」と表示されている入力欄を押します。



「耕耘」と入力し、「追加」ボタンを押します。 下図のように、「耕耘」が追加され、追加用の入力欄が新たに表示されます。





# ② 編集

「除草」を「草刈り」に変更します。

「除草」の入力欄を押して、「草刈り」と入力します。

「更新」ボタンを押します。







編集画面のドロップダウンには、下図のように「除草」が「草刈り」に変更されています。





# ③ 削除

「施肥」を削除します。

「施肥」の入力欄の横に並んでいる「削除」ボタンを押します。



編集画面のドロップダウンには、下図のように「施肥」が削除されています。



右側の画面を閉じるには、右下の矢印ボタンを押します。



# 2.5 基本的な操作について

各画面(各帳票作成)に共通する操作について、種苗一覧画面を例に確認します。

#### 2.5.1 新規作成

新しく記録(行)を作成する場合の操作を確認します。

(1)「新規」ボタンを押します。



(2)編集画面が表示されます。編集画面の入力項目に必要な情報を入力していきます。 入力し終わったら、内容を確認して「OK」ボタンを押します。



下図のように、追加した内容が表に表示されます。

作物 💠	品種	種・苗	作業内容	入手方法	有機区分	証明書	単位	グループ	備考
カボチャ	雪化粧	苗		購入	有	有		-	-
ジャガイモ	キタアカリ	苗		購入	有	有		-	-
トイト	アイコ	苗		購入	有	有		-	-
	[◀ ◀ ▶ ▶] Page: 1 Go Rows: 全表示 ▼								示 ▼

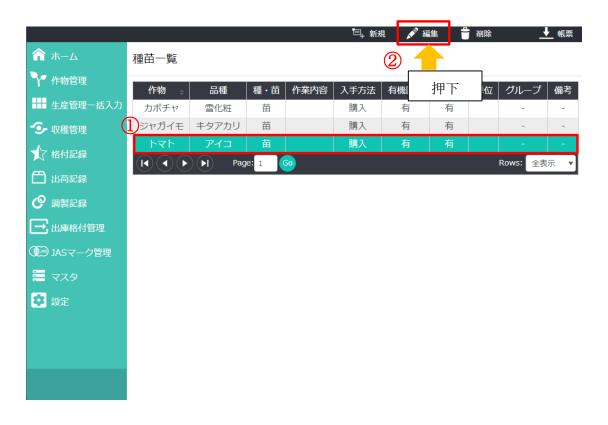
### 2.5.2 編集

既に登録してある記録(行)を編集する場合の操作を確認します。 編集する際は、2つの方法で編集画面を表示することができます。

# 【1つ目の方法】

(1) 編集する記録(行)を押します。押した記録(行)は背景の色が変わります。「編集」ボタンを押します。

※行をダブルクリックすることでも編集画面を表示できます。



(2) 編集画面が表示されます。

下図のように、選択した記録(行)に登録された情報が表示されます。



(3) 変更する項目を編集します。 ここでは、品種を「アイコ」から「桃太郎」に変更してみます。

		<u> </u>	
* 作物:	トムト	* 作物:	トムト
品種:	アイコ	品種:	桃太郎

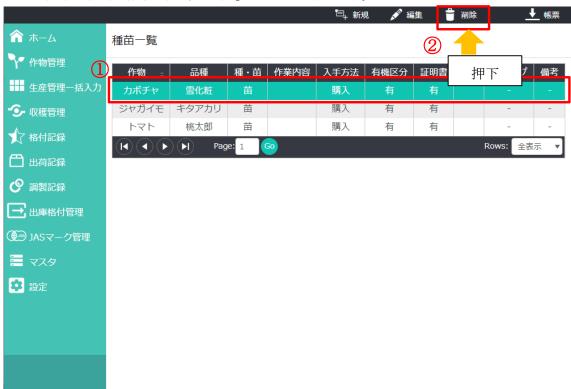
(4) 「OK」ボタンを押します。下図のように、編集した内容が表に反映されます。

作物。	品種	種・苗	作業内容	入手方法	有機区分	証明書	単位	グループ	備考
カボチャ	雪化粧	苗		購入	有	有		-	-
ジャガイモ	キタアカリ	苗		購入	有	有		-	-
トマト	桃太郎	苗		購入	有	有		-	-
	(I ◆ ( ◆ ) ◆ ) ◆ Page:   1   Go   Rows: 全表示 ▼								

#### 2.5.3 削除

記録(行)を削除する場合の操作を確認します。

(1) 削除する記録(行)押し、「削除」ボタンを押します。



(2) 下図のような確認画面が表示されます。

削除する場合は「OK」ボタンを押します(削除しない場合は「キャンセル」ボタンを押します)。



「削除しました」とメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。



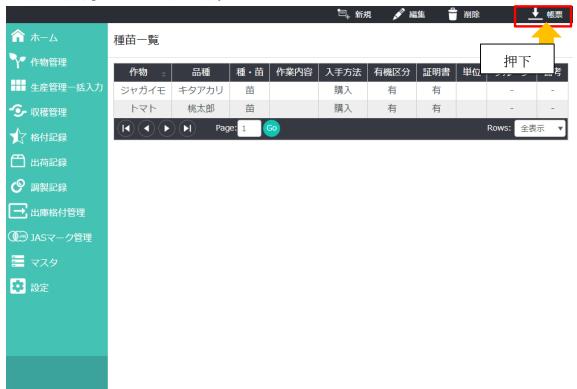
下図のように、削除した記録(行)が表から消えます。

作物 💠	品種	種・苗	作業内容	入手方法	有機区分	証明書	単位	グループ	備考
ジャガイモ	キタアカリ	苗		購入	有	有		-	-
トマト	桃太郎	苗		購入	有	有		-	-
[I ◆ ◆ ▶ ▶] Page: 1 Go Rows: 全表示 ▼									

# 2.5.4 帳票を作成する

帳票を作成する場合の操作を確認します。

(1) 「帳票」ボタンを押します。



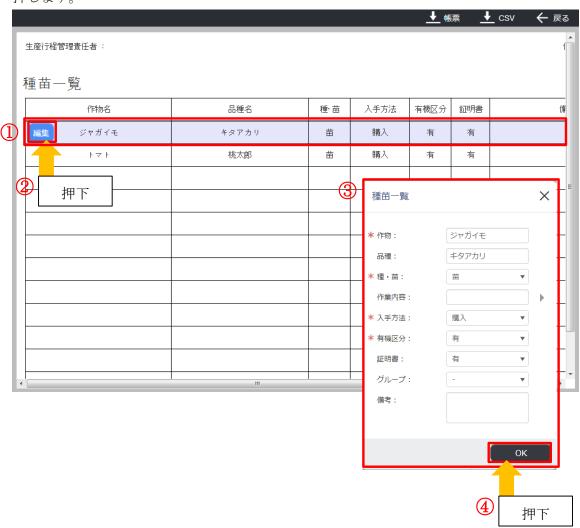
帳票のプレビュー画面が表示されます。「帳票」ボタンを押すと帳票が出力されます。



下図のメッセージ画面が表示されるので「OK」ボタンを押します



※プレビュー画面からも編集が可能です。①の編集する記録(行)を選択して、②の「編集」ボタンを押します。③の編集画面が表示されるので、内容を編集して④の「OK」ボタンを押します。

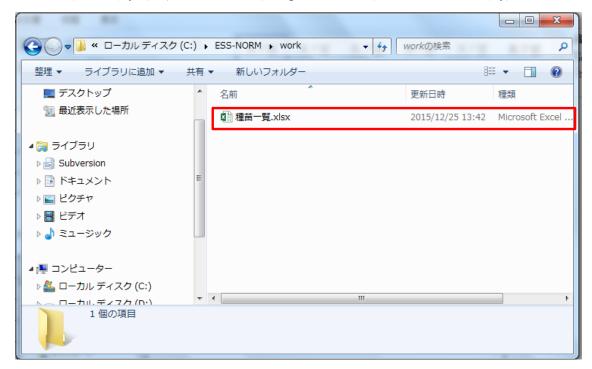


#### 2.5.5 帳票をひらく

作成した帳票は、インストール後に作られる「work」というフォルダにあります。 インストール後にデスクトップ上に表示される下図の NORM 帳票のアイコンをダブルク リックします。(※右クリックで「開く」を選択して開くこともできます。)



下図のように「work」フォルダが開かれ、作成した帳票が表示されるので、ダブルクリックして開きます。(※右クリックで「開く」を選択して開くこともできます。)



※帳票は、NORM 帳票のアイコンから開くことができますが、下図のようにインストール後に作られるフォルダから開くこともできます。

(ファイルの場所…C:\YESS-NORM\Ywork)



※表示される文字数が多くなった場合プレビューと出力結果の見た目が変わることがあります。また、編集画面で入力した改行が含まれないことがあります。

## 3. あらかじめ設定する項目

ここでは、帳票を作成するために必要な情報を設定します。

各項目を設定することで、他の帳票作成時に使用できることに加えて、各一覧系の帳票を作成することができます。

#### 3.1 設定

帳票を作成する前に、申請者などの帳票に表示される項目や、栽培品目などを設定してお く必要があります。

#### ホーム画面右上

にある「設定」を選択します。



下図のように、設定画面が表示されます。ここで設定する項目は赤枠の中だけです。



#### (1) 帳票表示項目

下図のように「申請者」「認定機関」「生産行程管理責任者」の項目に入力します。



### (1) 栽培品目

栽培している品目を選択してください。



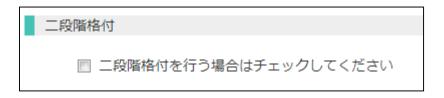
※選択した作物によって、下記のように使える機能が変わります。

水稲・茶・大豆・小麦 … 調製管理記録を作成することができます。

きのこ … 資材一覧の「資材区分」で「別表3:菌種培養資材」を選択できます。

### (2) 二段階格付

下図の二段階格付を選択すると、出庫格付管理記録を作成することができます。



#### 3.2 ほ場

ほ場は、「ほ場一覧画面」で設定することができます。 まずは、ほ場一覧画面の表示方法を説明します。

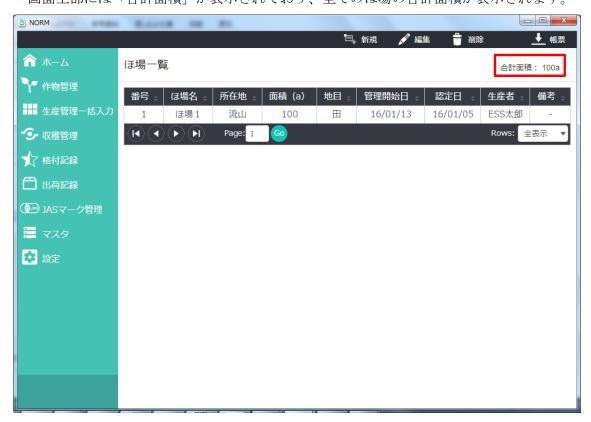
ホーム画面の「ほ場」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「マスタ」を選択します。メニューの横に「ほ場」「種苗」「資材」「施設」「機械・器具」「グループ管理」の項目が表示されるので、「ほ場」を選択します。



下図のように、ほ場一覧画面が表示されます。 画面上部には「合計面積」が表示されており、全てのほ場の合計面積が表示されます。



下図は、ほ場を追加、編集する際の入力例です。

\*印が付いた項目が必須項目です。



- ※面積は、少数第1位まで入力できます。
- ※「生産者」の登録については、20 ページ を参照してください。

#### 3.3 種苗

種苗は、「種苗一覧画面」で設定することができます。 まずは、種苗一覧画面の表示方法を説明します。

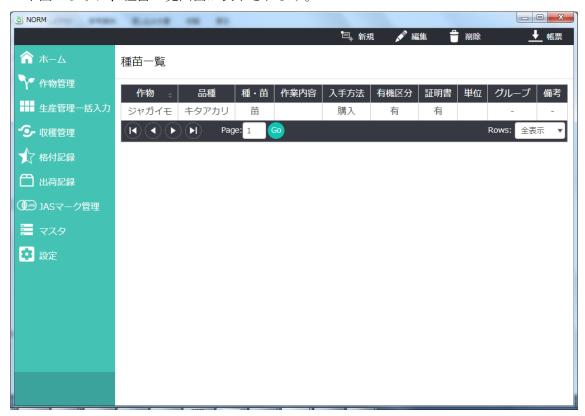
ホーム画面の「種苗」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「マスタ」を選択します。メニューの横に「ほ場」「種苗」「資材」「施設」「機械・器具」「グループ管理」の項目が表示されるので、「種苗」を選択します。



下図のように、種苗一覧画面が表示されます。



下図は、種苗を追加、編集する際の入力例です。

\*印が付いた項目が必須項目です。



※「作業内容」の登録については、20 ページを参照してください。 また、「種・苗」の項目で「苗」を選択した場合は、下図のように「証明書」の項目が表示されます。苗の場合、「証明書」で「有」を選択しなければ登録できません。



また、「作業内容」を選択した場合は、下図のように「単位」の項目が表示されます。





種苗一覧		×
* 作物: 品種: * 種·苗: 作業内容: * 入手方法: * 有機区分: 証明書:	タマネギ ネオアース 苗 ▼  緑肥 「自家採種 「 す	•
単位:	kg	]
備考:		•
	ОК	

#### 3.4 資材

資材は、「資材一覧画面」で設定することができます。 まずは、資材一覧画面の表示方法を説明します。

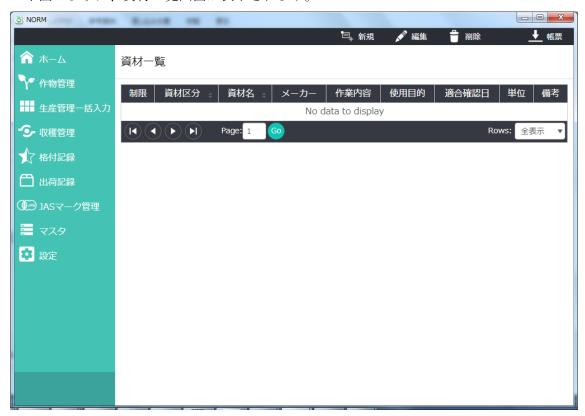
ホーム画面の「資材」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「マスタ」を選択します。メニューの横に「ほ場」「種苗」「資材」「施設」「機械・器具」「グループ管理」の項目が表示されるので、「資材」を選択します。



下図のように、資材一覧画面が表示されます。



下図は、資材を追加、編集する際の入力例です。

\*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「作業内容」の登録については、20ページを参照してください。
- ※「作業内容」を入力した資材は、他の帳票 作成時に使用することができます。
- ※混合資材の場合、「備考」に配合を書いてく ださい。
- ※混合資材の中身を変えた場合、「資材名」を 変更してください。

また、「資材区分」の項目で「別表 2 : 農薬」を選択した場合は、下図のように「メーカー」が必須項目となります。

資材一覧		×
* 資材区分:	別表2:農薬	•
* 資材名:		
* メーカー:		

#### 3.5 施設

施設は、「施設一覧画面」で設定することができます。 まずは、施設一覧画面の表示方法を説明します。

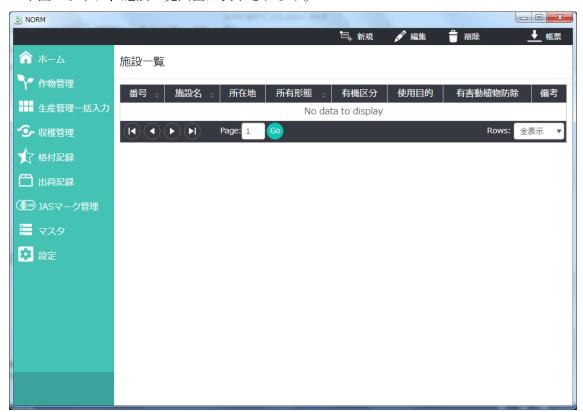
ホーム画面の「施設」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「マスタ」を選択します。メニューの横に「ほ場」「種苗」「資材」「施設」「機械・器具」「グループ管理」の項目が表示されるので、「施設」を選択します。



下図のように、施設一覧画面が表示されます。



下図は、施設を追加、編集する際の入力例です。

\*印が付いた項目が必須項目です。



- ※使用目的については、17ページを参照してください。
- ※使用目的で「育苗」を選択した施設は、育 苗管理記録で使用することができます。

#### 3.6 機械·器具

機械・器具は、「機械・器具一覧画面」で設定することができます。 まずは、機械・器具一覧画面の表示方法を説明します。

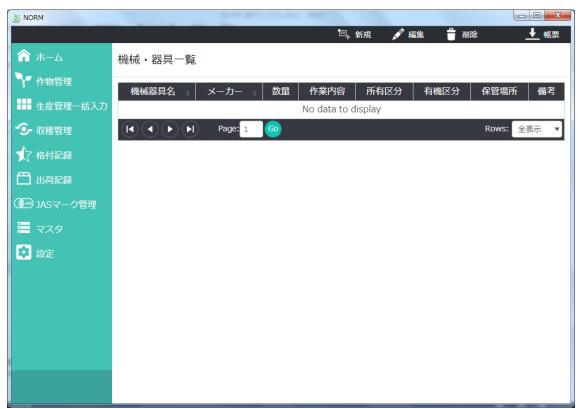
ホーム画面の「機械・器具」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「マスタ」を選択します。メニューの横に「ほ場」「種苗」「資材」「施設」「機械・器具」「グループ管理」の項目が表示されるので、「機械・器具」を選択します。



下図のように、機械・器具一覧画面が表示されます。



下図は、機械・器具を追加、編集する際の入力例です。

\*印が付いた項目が必須項目です。



- ※作業内容については、20 ページを参照してください。
- ※保管場所には、施設一覧で登録した施設を 選択することができます。

## 4. 育苗管理記録の作成

あらかじめ「設定」「ほ場」「種苗」「資材」「施設」「機械・器具」の項目を設定した後、 育苗管理記録を作成します。

(1) 育苗管理記録を作成するために、まず作物管理画面を表示します。 ホーム画面の「作物管理」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「作物管理」を選択します。



#### (2) 育苗作物を追加します。

「新規」ボタンを押して、編集画面を表示させます。

育苗管理記録を作成する場合、必ず「生産 or 育苗作物」の項目で下図のように 「育苗作物」を選択して下さい。



下図は、育苗作物を追加、編集する際の入力例です。

育苗作物の場合、「記録開始日」「生産 or 育苗作物」「栽培場所」「作物」「使用種子・苗」「緩衝地帯」が必須項目となっています。



※「生産 or 育苗作物」では、必ず「育苗作物」を選択してください。

「作物」、「品種」、「使用種子・苗」のドロップダウンには、種苗一覧で登録した作物情報が表示されます。

下図は、作物のドロップダウンで「タマネギ」を選択した場合です 品種のドロップダウンの選択肢には、種苗一覧で登録した「ネオアース」、「ターボ」、「ソ ニック」が表示されています。

ここでは、作物は「タマネギ」、品種は「ターボ」を選択します。



「作物」と「品種」を選択すると、下図のようになります。

「使用種子・苗」のドロップダウンには、種苗一覧でタマネギのターボに設定した内容が 表示されます。



※上図のまま「OK」ボタンを押して編集画面を閉じると、下図のように何も表示されません。



画面上部の「生産 or 育苗作物」「栽培場所」「作物」のドロップダウンは検索条件となっています。

ここでは「生産 or 育苗作物」で「育苗作物」を選択し、栽培場所のドロップダウンを押します。



栽培場所のドロップダウンの選択肢には、下図のようにあらかじめ設定したほ場と施設が表示されます。

ここでは、「A-1: ほ場1 (ほ場)」を選択します。



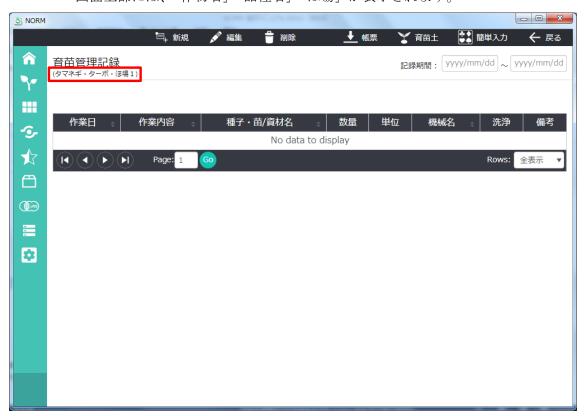
下図のように、作成した記録(行)が表示されます。



(3) 育苗管理記録を作成する記録(行)の「育苗記録」ボタンを押します。



(4) 下図のように、育苗管理記録画面が表示されます。 画面上部には、「作物名」「品種名」「ほ場」が表示されます。



(5) 育苗管理記録を作成します。

「新規」ボタンを押して、編集画面を表示させます。

育苗管理記録の場合、「資材区分」「資材名」が必須項目となっています



※数量は、少数第2位まで入力できます。

※種苗、資材、機械の登録については、116 ページを参照してください。

また、「作業内容」のドロップダウンを選択すると、各作業内容に応じた「種子・苗/資材名」、「機械名」が選択肢として表示されます。

ここでは、「作業内容」で「施肥」を選択します。



下図のように、「種子・苗/資材名」には資材一覧の「作業内容」で「施肥」を入力した資材が表示されます。(種苗一覧で「作業内容」を選択した作物も表示されます。)



「種子・苗/資材名」で別表1、2の資材を選択すると、希釈率の入力欄と数量の入力欄の横に単位が表示されます。

※この単位は、資材一覧で各資材に設定することができます。

※この単位は、種苗一覧で作業内容を選択した各種苗に設定することができます。





同様に、「機械名」には機械・器具一覧の「作業内容」で「施肥」を入力した機械が表示 されます



下図が複数の記録が登録された状態です。



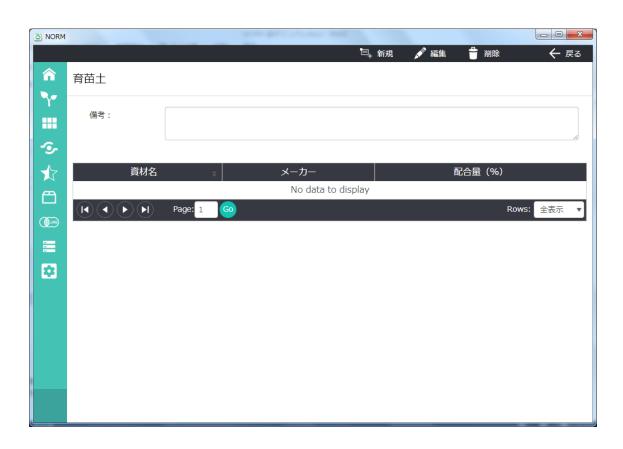
記録期間に日付を入力することで表示する範囲を絞り込むことができます。



(6) 育苗土を記録します。「育苗土」ボタンを押します。



下図のように、育苗土画面が表示されます。 育苗土画面では、使用した資材と備考を記録することができます。 ここで入力した内容は、育苗管理記録の帳票に表示されます。



備考は、下図のように入力欄を押して、入力することができます。 ※備考の入力を完了するためには、入力欄の外側を押します。

備考: 魚かす7-6, ぼかハッスル

下図は、育苗土を追加、編集する際の入力例です。

育苗土の場合、「資材名」が必須項目となっています。

「資材名」の選択肢には、資材一覧に設定した資材名が表示されます。



## 5. 生産管理記録の作成

(1) 生産管理記録を作成するために、まず作物管理画面を表示します。 ホーム画面の「作物管理」を選択します。



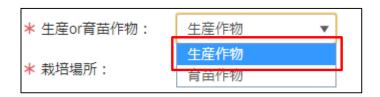
※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「作物管理」を選択します。



## (2) 生産作物を追加します。

「新規」ボタンを押して、編集画面を表示させます。

生産管理記録を作成する場合、必ず「生産 or 育苗作物」の項目で下図のように「生産作物」を選択して下さい。



下図は、生産作物を追加、編集する際の入力例です。

\*印が付いた項目が必須項目です。



※「栽培面積 (a)」は、少数第1位まで入力できます。

「作物」、「品種」、「使用種子・苗」のドロップダウンには、種苗一覧で登録した作物情報が表示されます。

「栽培面積 (a)」には、「栽培場所」で選択したほ場の面積が表示されます。

下図は、作物のドロップダウンで「ジャガイモ」を選択した場合です

品種のドロップダウンの選択肢には、種苗一覧で登録した「キタアカリ」が表示されています。

ここでは、作物は「ジャガイモ」、品種は「キタアカリ」を選択します。



「作物」と「品種」を選択すると、下図のようになります。

「使用種子・苗」のドロップダウンには、種苗一覧でジャガイモのキタアカリに設定した 内容と、育苗管理記録で記録した内容が「育苗(記録開始日)」とが表示されます。

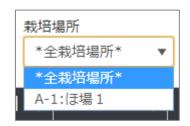


画面上部の「生産 or 育苗作物」「栽培場所」「作物」のドロップダウンが検索条件となっています。

生産作物の場合、「生産 or 育苗作物」で「生産作物」を選択し、栽培場所のドロップダウンを押します。



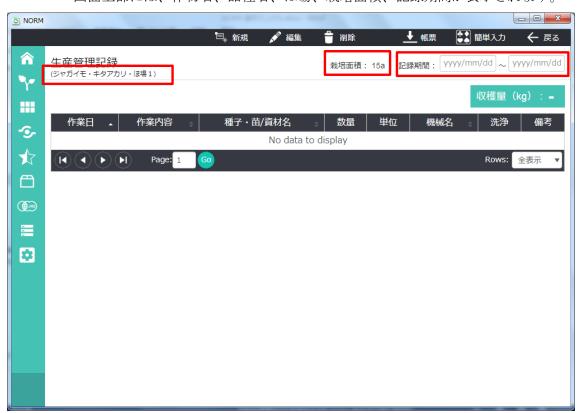
栽培場所のドロップダウンの選択肢には、下図のようにあらかじめ設定したほ場 (「ほ場番号:ほ場名」) が表示されます。



※「作物」のドロップダウンの選択肢には、「\*全作物\*」のほかに、作物管理画面で登録 した「育苗作物」が表示されます。 (3) 下図は、生産作物をいくつか登録した状態です。 生産管理記録を作成する記録(行)の「生産記録」ボタンを押します。



(4) 下図のように、生産管理記録画面が表示されます。 画面上部には、作物名、品種名、ほ場、栽培面積、記録期間が表示されます。



(5) 生産管理記録を追加します。

「新規」ボタンを押して、編集画面を表示させます。 \*印が付いた項目が必須項目です。



※数量は少数第2位まで入力できます。

※種苗、資材、機械の登録については、116ペ ージを参照してください。

※「有機専用」の機械が機械名で選択されると備 考に「有機専用のため洗浄不要」と表示されます。

また、「作業内容」のドロップダウンを選択すると、各作業内容に応じた「種子・苗/資材名」、「機械名」が選択肢として表示されます。

ここでは、「作業内容」の「施肥」を選択します。



下図のように、「資材名」には資材一覧の「作業内容」で「施肥」を入力した資材が表示されます。(種苗一覧で「作業内容」を選択した作物も表示されます。)



「種子・苗/資材名」で別表1、2の資材を選択すると、希釈率の入力欄と数量の入力欄の横に単位が表示されます。

※この単位は、資材一覧で各資材に設定することができます。

※この単位は、種苗一覧で作業内容を選択した各種苗に設定することができます。





同様に、「機械名」には機械・器具一覧の「作業内容」で「施肥」を入力した機械が表示されます



また、「数量」下の「10a 当たりの使用量」のチェックボックスにチェックを付けると、 栽培面積の 10a 当たりに使用した資材量が表に表示されます。



また、「作業内容」で「収穫」を選択すると、「収穫量(kg)」の入力欄が表示されます。



「収穫」の記録(行)がある場合は、下図のように表示されます。

記録(行)の作業内容には「収穫(収穫量 kg)」が表示され、表の右上には収穫量の合計が表示されます。 収穫量の合計



# 6. 収穫管理記録の作成

収穫管理画面では生産管理記録で入力された収穫記録が一覧で表示されます。収穫管理の記録を新規に追加する方法は生産管理記録画面から入力する方法と、収穫管理画面から入力する方法があります。

収穫管理記録は「収穫管理記録画面」で設定することができます。まずは、収穫管理記録 画面の表示方法を説明します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「収穫管理」を選択します。



下図のように、収穫管理画面が表示されます。

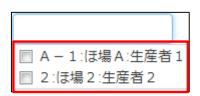


(1) 収穫管理記録を追加します。新規ボタンを押して編集画面を表示します。 \*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「総量(kg)」は少数第2位まで入力できます。
- ※「数量」「JAS マーク(枚)」は整数で入 力できます。

(2)「ほ場」の入力項目を押すと、下図のように選択した作物を栽培したほ場の情報が表示されます。ほ場を選択することで、異なる記録開始日の作物をいつ格付したのかを管理できます。



下図のように選択肢の上にマウスを持っていくと、右側に作物管理画面で同ほ場に登録 した記録(行)の記録開始日が表示されます。



左側のほ場を選択すると、右側の一番上の記録開始日にチェックが入ります。



右側のチェックを入れ直して、記録開始日を変更します。



下図のように、複数選択することもできます。



「荷口形態」のドロップダウンの横には、薄いグレーの矢印があります。



この矢印を選択して、「荷口形態」を登録することができます。



矢印を選択すると、下図のように、編集画面の右側に新たな画面が出てきます。



「荷口形態」は、下図のように、kg 単位で設定することができます。 重量は少数第 1 位まで入力できます。



下図は「1kg/箱」「500g/袋」「バラ」を登録した状態です。 「500g/袋」は「0.5kg/袋」と入力することで登録できます。 また、「バラ」のように重量を入力しない場合も登録できます。

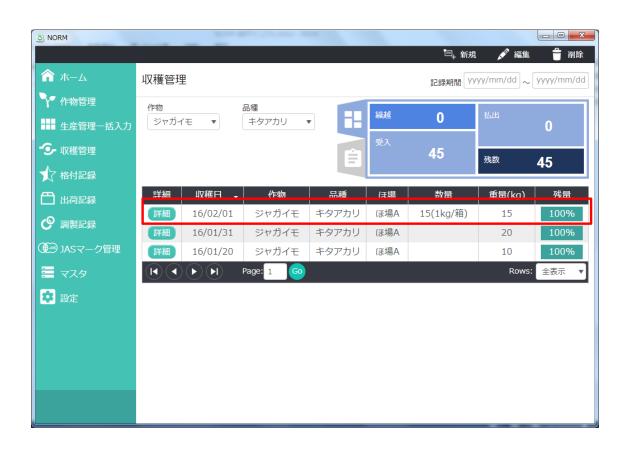


荷口形態を登録した後、「数量」を入力して「総量(kg)」の入力欄を押すと、荷口形態と数量から自動的に総量を計算します。

(「数量」の入力欄以外を押しても自動計算されます。)

※「数量」は整数で、「総量(kg)」は少数第2位まで入力できます

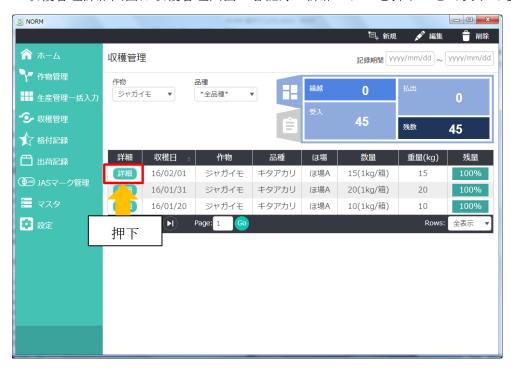
(3) OK ボタンを押して記録を追加します。生産管理記録と作物管理画面の両方に反映されます。





# 7. 格付管理記録・出荷管理記録の作成

格付管理記録と出荷管理記録は「収穫管理詳細画面」で設定することができます。収穫管理詳細画面は収穫管理画面の各記録の詳細ボタンを押すことで表示できます。

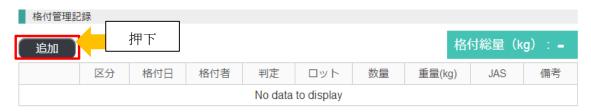


収穫詳細画面が表示されます。



出荷可能残量は、収穫した作物の中でまだ出荷も破棄もされていない作物の残量が表示されます。また格付総量に関しては 146 ページで詳細な説明を行います。

(1)格付管理記録を追加します。格付管理記録の追加ボタンを押すと編集画面が表示されます。



\*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「総量(kg)」は少数第2位まで入力できます。
- ※「数量」「JAS マーク(枚)」は整数で入 力できます。

「JASマーク(枚)」には、JASマークの種類を登録することができます。 下図のように、「シール」という JASマークの種類があらかじめ登録されています。



「JASマーク(枚)」は、JASマークの種類が1種類の場合と、複数種類がある場合で入力の仕方が変わります。

(※JASマークの種類が複数ある場合、114ページを参照してください。)

1種類の場合、編集画面の「JASマーク(枚)」の入力欄に枚数を入力します。

※「JASマーク(枚)」は整数のみ入力できます。



また「出荷」ボタンを押すと、出荷管理記録の編集画面が表示されます。



(2) 出荷管理記録を追加します。出荷管理記録の「追加」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。ロット番号 G000-1 の格付をおこなう場合は上のチェックボックスにチェックをつけます。格付けをせずに出荷した場合は関連付けなしを選択して「OK」ボタンを押します。



(3) 出荷の編集画面を表示されます。以下のように値を入力します。 \* 印が付いた項目が必須項目です。



- ※「出荷先」「JAS マーク」「荷口形態」 の登録については、20 ページを参 照してください。
  - ※「総量(kg)」は少数第2位まで入力できます。
  - ※「数量」「JAS マーク(枚)」は整数で 入力できます。
  - **※JAS**マークの種類が複数ある場合、114 ページを参照してください。

(4)「OK」ボタンを押すと以下のように表示されます



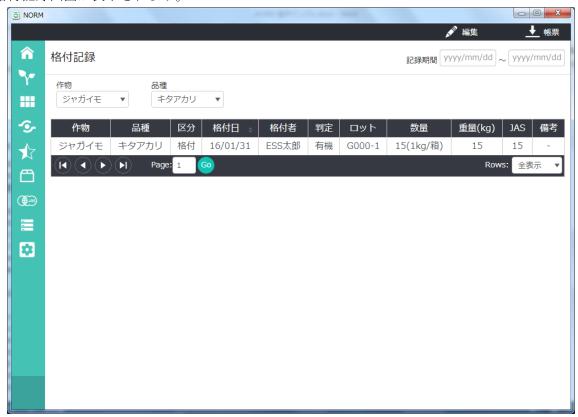
(5)格付管理記録の一覧を確認します。ホーム画面の「格付記録」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「格付記録」を選択します。



格付記録画面が表示されます。



下図は、画面上部にある作物のドロップダウンです。

ここには、作物管理画面で生産作物として登録した作物が表示されます。



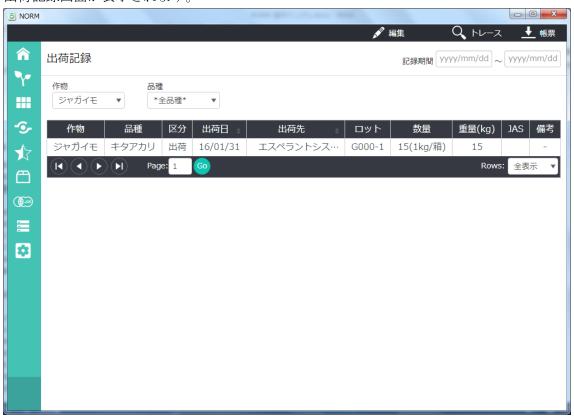
(6) 出荷管理記録の一覧を確認します。ホーム画面の「出荷記録」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「出荷記録」を選択します。



出荷記録画面が表示されます。



### 8. JAS マーク管理記録の作成

(1) ホーム画面の「JASマーク管理」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「JASマーク管理」を選択します。



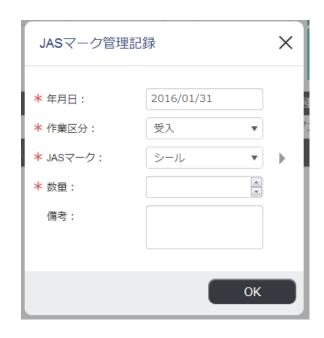
下図のように、JASマーク管理記録画面が表示されます。



画面の右上には、下図のように JAS マークの在庫が表示されます。



(1) JASマーク管理記録を追加します。 画面下部の「新規」ボタンを押して、編集画面を表示させます。 \*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「JASマーク」の登録については、20 ページを参照してください。
- ※「総量(kg)」は整数で入力できます。

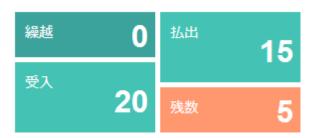
「作業区分」のドロップダウンでは、新しく JAS マークを取得した場合は「受入」、JAS マークを破棄した場合は「破棄」を選択します。



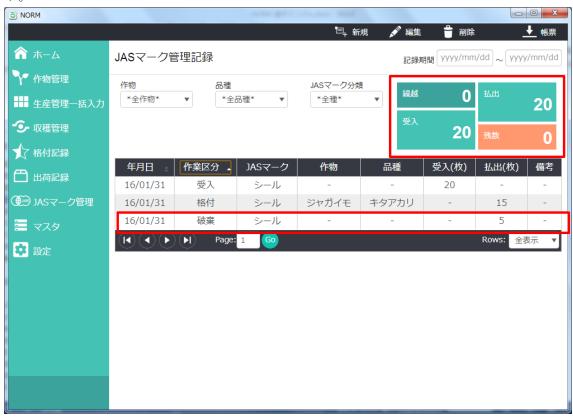
「作業区分」で「受入」を選択して記録(行)を追加した場合、下図のように表示されます。



 ${
m JAS}$  マークの在庫量は以下のように変化します。「受入」の 20 枚のうち「払出」で 15 枚使用しているため、残数が「5」と表示されます。



また、作業区分の「破棄」を選択すると、破棄分の JAS マークは「払出」の扱いとなります。



もし、手元にある JAS マークの残数が入力した残数よりも多くなってしまった場合は「区分」に受入を選択して備考に棚卸減耗等の内容を記載して対応するようにしてださい(少ない場合は「区分」に破棄を選択してください)。

# 9. 調製管理記録作成の作成

設定画面で栽培作物に「水稲」「茶」「大豆」「小麦」を選択した場合、また、「調製記録」を選択した場合に調製管理記録を作成することができます。





下図のように、ホーム画面とメニューにそれぞれ「調製管理」ボタンが表示されます。





調製管理記録を作成するために、まず収穫管理画面を表示します。 ホーム画面の「収穫管理」を選択します。



「詳細」ボタンを選択します。



調製管理記録が表示されます。



(2) 調製管理記録の「追加」ボタンを押します。出荷時と同様に下記の画面が表示されます。ロット番号 YKT-0001 の格付をおこなう場合は上のチェックボックスにチェックをつけます。格付けをせずに出荷した場合は関連付けなしを選択して「OK」ボタンを押します。



(3)「OK」ボタンを押すと調製記録画面が表示されます。 \*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「作業内容」の登録については、20ペ ージを参照してください。
- ※「原材料数量 (kg)」「出来高数量 (kg)」 は少数第2位まで入力できます。

(4)「OK」ボタンを押すと調製管理記録に追加されます。



原材料ロス総量が 20 と表示されています。これは原材料数量と出来高数量を比べて廃棄された量が表示されます。原料数量 100 と出来高数量 80 の差である 20 が表示されます。

# 原材料口ス総量(kg): 20

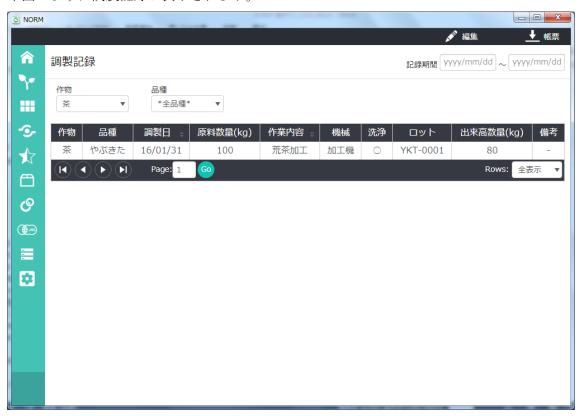
(5) 調製記録の一覧を表示します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「調製記録」を選択します。



下図のように調製記録が表示されます。



# 10. 出庫格付管理記録の作成

出庫格付管理記録では収穫物を倉庫等に集め、その後個別に調製、出荷している場合の記録をつけることができます。(異なる格付日、栽培場所の作物をまとめて調製、出荷することができます。)

下図のように、設定画面で二段階格付を選択した場合、出庫格付管理記録を作成することができます。

※ここでは栽培品目で「水稲」を選択します。



下図のように、ホーム画面とメニューにそれぞれ「出庫格付管理」ボタンが表示されます。





出庫格付管理記録を作成するために、まず格付管理記録画面を表示します。 ホーム画面の「収穫管理」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「収穫管理」を選択します。

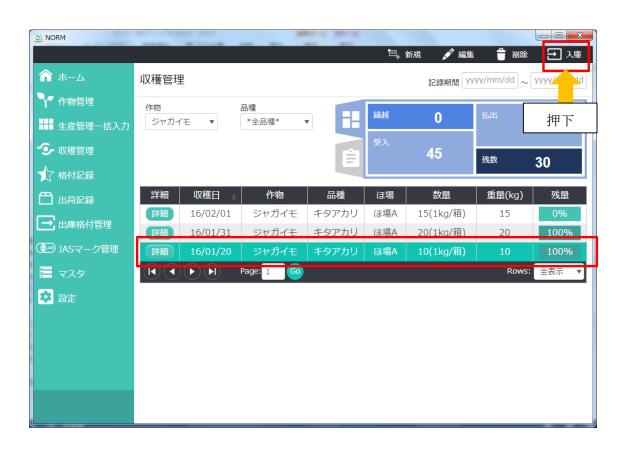


#### 10.1 入庫

下図は、収穫管理記録をいくつか登録した状態です。

※設定画面で二段階格付を選択した場合、格付管理記録画面の下部には「入庫」ボタンが表示されます。

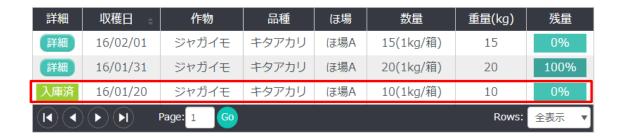
まとめて再格付・出荷する記録(行)を選択して、「入庫」ボタンを押します。



下図のようなメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。



入庫した記録(行)は、下図のように「入庫済み」と表示され、格付管理記録画面では調製・出荷ができません。



※入庫を取り消す場合は、取り消す記録(行)を選択し、画面下部の「入庫」ボタンを押します。

※入庫した総量は必ず控えておいてください。あとで再格付・出荷する際に必要となります。

#### 10.2 出庫・格付・出荷

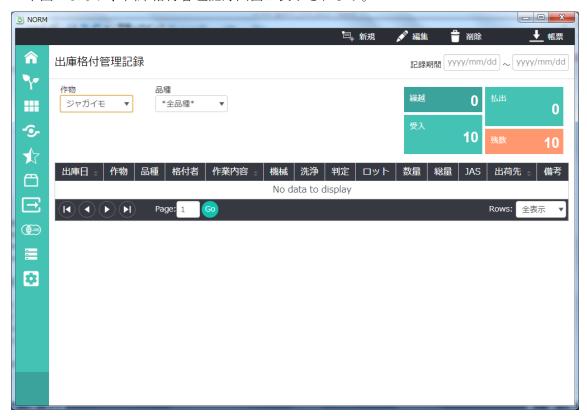
ホーム画面の「出庫格付管理」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「出庫格付管理」を選択します。



下図のように、出庫格付管理記録画面が表示されます。



画面上部の「作物」のドロップダウンには、作物管理画面で生産作物として登録した作物 が表示されます。

※作物を選択すると、「品種」のドロップダウンには作物管記録で記録した品種が表示されます。



画面右上には、下図のように入庫した作物の残量が表示されます。



下図は、出庫格付管理記録を追加、編集する際の入力例です。 \*印が付いた項目が必須項目です。

出庫格付管理記録					
* 作物:	ジャガイモ	•	* 格付担当者:	ESS太郎  ▼	<b>)</b>
品種:	キタアカリ	•	作業内容:	包装   ▼	<b>)</b>
* 出庫日:	2016/02/07		機械名:	•	•
* 格付判定:	有機	•	洗浄:	- 🔻	
באעם:	P-0002		荷口形態:	1kg/箱 ▼	•
			数量:	10	
			総量 (kg) :	10	
			JASマーク(枚):	10	<b>&gt;</b>
			出荷先:	エスペラントシステ.▼	<b>&gt;</b>
			備考:		
				0	K

- ※「格付担当者」「作業内容」「JASマーク」「出荷先」「荷口形態」の登録については、20ページを参照してください。
- ※機械の登録については、116ページを参照してください。
- ※「総量(kg)」は少数第2位まで入力できます。
- ※「数量」「JASマーク(枚)」は整数で入力できます。

# 11. 補助機能

#### 11.1 一括入力について

生産管理記録を作成する際に、同一日に複数ほ場の作物に対して同じ作業をした場合、一括で入力することができます。

(1) ホーム画面の「生産管理一括入力」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「生産管理一括入力」を選択します。



下図のように、生産管理一括入力画面が表示されます。表には、作物管理画面で生産作物として設定した作物が表示されます。

画面上部には「栽培面積」が表示されています。



- (2) 一括入力する作業を登録するため、編集画面を表示させます。 編集画面を表示させる方法は、以下の2通りです。
  - ① 表の上にある、「作業内容を入力してください」という部分を押します。



# 作業内容を入力してください

『作業編集』ボタン押下で作業内容を入力できます。

② 画面下部の「作業編集」ボタンを押します。



下図のような編集画面が表示されます。

\*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「作業内容」の登録については、20ページを参照してください。
- ※種苗、資材、機械の登録については、 116ページを参照してください。
- ※「資材量(全量)」を入力する際は、一 括入力する作業で使用した資材の全 量を入力してください。
- ※「数量(全量)」は少数第2位まで入力できます。

また、「作業内容」のドロップダウンを選択すると、各作業内容に応じた「種子・苗/資材名」、「機械名」が選択肢として表示されます。

ここでは、「作業内容」で「施肥」を選択します。



下図のように、「種子・苗/資材名」には資材一覧の「作業内容」で「施肥」を入力した資 材が表示されます。(種苗一覧で「作業内容」を選択した作物も表示されます。)



「種子・苗/資材名」で別表1、2の資材を選択すると、希釈率の入力欄と数量の入力欄の横に単位が表示されます。

※この単位は、資材一覧で各資材に設定することができます。

※この単位は、種苗一覧で作業内容を選択した各種苗に設定することができます。



同様に、「機械名」には機械・器具一覧の「作業内容」で「施肥」を入力した機械が表示 されます



下図のように、必要な項目を入力して「OK」ボタンを押します。





下図のように、表の上の部分に登録した作業内容が表示されます。



#### 2015/02/28

施肥,サンキョー医王素,8倍希釈,トラクター,洗浄(-),備考:サンキョー医王素、8...

(3) 一括入力する作物を選択します。

各行の左側にはチェックボックスがあります。 下図のように、複数選択することができます。

チェックを付けると、チェックした記録(行)の栽培面積の合計が画面上部に表示されます。

表の上の作業内容には、チェックした記録(行)の面積が反映されます。

- ※下図の「サンキョー医王素 (11.11L/10a) 8 倍稀釈」とは、8 倍に希釈した資材を全 ほ場の 10a 当たりの面積に使用した場合です。
- ※「数量(全量)」÷「合計面積」の式で計算しています。

#### 生産管理一括入力

栽培面積合計: 45a



### 2015/02/28

施肥,サンキョー医王素(11.11 L/10a),8倍希釈,トラクター,洗浄(-),備考:サンキ...

※作物管理のほ場、作物、品種が同じ場合は最新の記録開始日の作業に追加されます。

作業入力対象	ほ場 ⇔	作物。	品種
	A - 1	ジャガイモ	キタアカリ
V	2	ジャガイモ	キタアカリ
V	A - 1	トムト	アイコ
V	1	カボチャ	雪化粧
	Page: 1 Go		Rows: 全表示 ▼

(4) 画面上部の「一括入力」ボタンを押します。



下図のような、確認画面が表示されるので、「OK」ボタンを押します。



下図のようなメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。 これで一括入力が完了します。



下図は、一括入力したほ場「1:ほ場1」の作物「カボチャ」、品種「雪化粧」の生産管理記録です。一括入力した内容が表示されています。



上図のように、表には 10a 当たりに換算した使用量が表示されます。

# 11.2 簡単入力について

簡単入力では、普段よく行う作業内容を登録しておいて、登録した内容を編集画面で入力 することができます。

この機能は、育苗管理記録画面と生産管理記録画面、そして生産管理一括入力画面で使用することができます。

(1) ホーム画面の「簡単入力」を選択します。

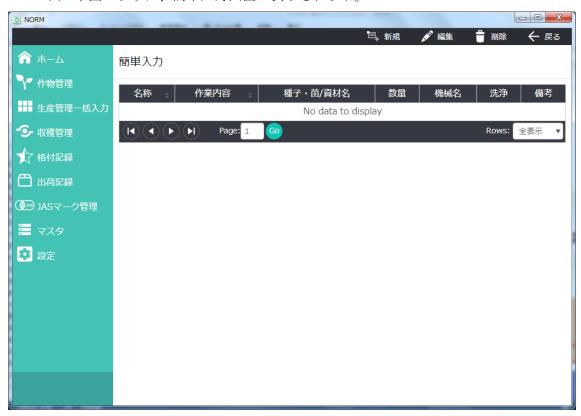


育苗管理記録画面、生産管理記録画面、生産管理一括入力画面から表示する場合は、各画面の下部にある「簡単入力」ボタンを押します。

(※下図は生産管理記録の場合です。)



(1) 下図のように、簡単入力画面が表示されます。



下図は簡単入力を編集する際の入力例です。 ※簡単入力の場合、必須項目はありません。



- ※「作業内容」の登録については、20ペ ージを参照してください。
- ※種苗、資材、機械の登録については、116 ページを参照してください。
- ※「数量(全量)」は少数第2位まで入力できます。

# (2) 簡単入力を使用します。

下図は生産管理記録です。

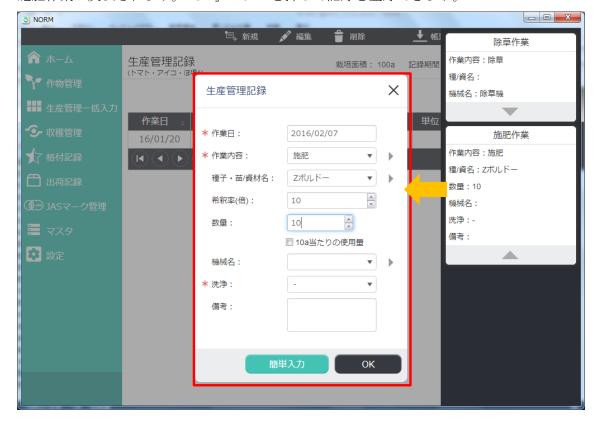
画面上部の「新規」ボタンを押して編集画面を表示します。



編集画面の下部の「簡単入力」ボタンを押すと画面右側に登録した簡単入力一覧が表示されます。施肥作業を押します。



施肥作業が反映されます。「OK」ボタンを押して記録を登録できます。



# 11.3 複数種類の JAS マーク入力

下図は、JASマークの種類をいくつか登録した状態です。 編集画面の「JASマーク(枚)」の入力欄を押します。

格付管理記録		×	JASマーク
* 作物: * 品種:	ジャガイモ ▼ キタアカリ ▼		シール     更新     削除       シール小     更新     削除
* 格付日: * ほ場:	2015/03/03		シール中 更新 削除
* 格付担当者:	格付担当者 A ▼	<b>&gt;</b>	シール大     更新     削除       新規追加     追加
* 格付判定:	有機  ▼		
荷口形態:数量:	500g/袋 ▼ 25	•	
総量 (kg) : JASマーク (枚) :	12.5	<b>,</b>	
備考:		,	
	ОК		—————————————————————————————————————

下図のように、JASマークの種類ごとの使用枚数を入力する画面が表示されます。



※複数 JAS マークを登録した場合は、編集画面の「JAS マーク(枚)」の入力欄に手動で入力することはできません。

編集画面の「JASマーク(枚)」の入力欄には、左側で入力した各マークの合計枚数が自動入力されます。



# 11.4 編集画面からのマスタ編集

下図のように、「資材名」や「機械名」のドロップダウンの横には、薄いグレーの矢印があります。

下図の場合、「作業内容」の「除草」で使用できる機械・器具は「トラクター」だけです。



「機械名」のドロップダウン横の矢印を選択します。



下図のように、機械・器具一覧が表示されます。 左側には、「生産管理記録編集中」と表示されます。

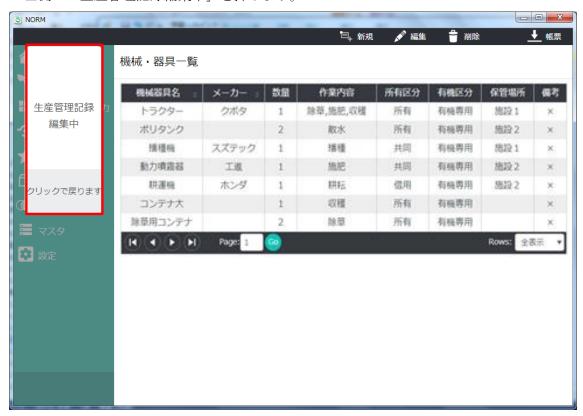


画面下部の「新規」ボタンを押して、下図の内容で「OK」ボタンを押します。



- 117 -

左側の「生産管理記録編集中」を押します。



下図のように生産管理記録の編集画面に戻ります。 先ほど登録した「除草用コンテナ」が表示されています。



#### 11.5 資材使用制限

資材一覧で登録した資材に対して、使用制限を設けることができます。

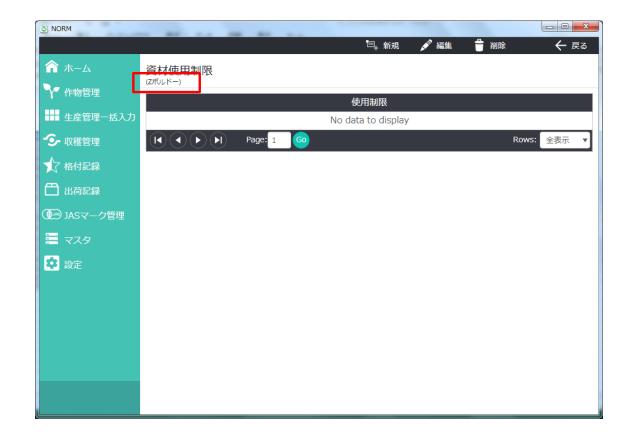
下図は資材一覧の表です。

各行の左端に表示されている「使用制限」ボタンを押します。

制限	資材区分 🗧	資材名	メーカー	作業内容
使用制限	別表1	サンキョー医王素	株式会社地場エネ…	施肥
使用制限	別表1	ぼかハッスル	千代田肥糧株式会社	施肥
使用制限	別表1	有機アグレット666	朝日工業株式会社	施肥
押下	別表1	魚かす7-6	株式会社インター…	
使是"限	その他	自家製堆肥		施肥
使用制限	別表2	Zボルドー	日本農薬株式会社	農薬散布
	<b>▶</b> ) (▶1) Pa	age: 1 Go		

下図のように、資材使用制限画面が表示されます。

画面上部には、資材名が表示されます。



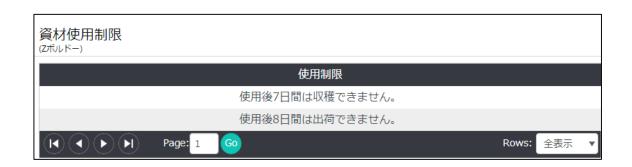
下図は、資材使用制限を追加、編集する際の入力例です。 ※全ての項目が必須項目です



また、下図のように薄いグレーの矢印を押すと使用制限作業を登録することができます。 ※「使用制限作業」の登録については、20ページを参照してください。



下図は、いくつか記録(行)を追加した状態です。



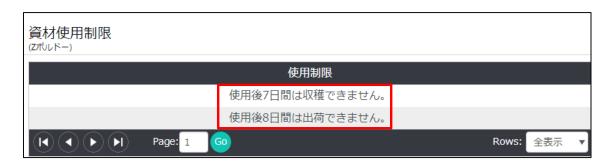
下図は、2015年3月11日時点の生産管理記録画面です。 2015年3月10日に「Zボルドー」を使用しています。



ホーム画面を表示すると、下図のように使用制限が表示されます。



※使用制限は下図のように登録していまます。



ホーム画面の使用制限には、ほ場・作物(品種)が表示されます。 また、日付は今日日付をもとに計算しています。

※下図の場合、2015年3月11日をもとに日付を計算しています。

ほ場A、トマト(アイコ)ではZボルドーを使用しているので、2015/03/17まで収穫できません。 ほ場 A 、トマト(アイコ)ではZボルドーを使用しているので、2015/03/18まで出荷できません。

#### 11.6 使用・不使用の切り替え

マスタ系「ほ場」「種苗」「資材」「施設」「機械・器具」で登録した記録(行)を削除する場合、生産管理記録や育苗管理記録で既に使用している記録(行)は削除することができません。

既に使用している記録(行)を削除する場合、不使用の記録(行)として登録されます。

下図は、既に生産管理記録で使用されている「コンテナ大」を不使用機械・器具として登録する場合です。

機械・器具一覧

機械器具名	メーカー	数量	作業内容	所有区分	有機区分	保管場所	備考
トラクター	クボタ	1	除草,施肥,収穫	所有	有機専用	施設1	×
ポリタンク		2	散水	所有	有機専用	施設2	×
插種機	スズテック	1	插種	共同	有機専用	施設1	×
動力噴霧器	工進	1	施肥	共同	有機専用	施設2	×
耕運機	ホンダ	1	耕耘	借用	有機専用	施設2	×
コンテナ大		1	収穫	所有	有機専用		×
<b>(4)(4)(4)</b>	Page: 1	60				Rows: 全	表示

画面上部の「削除」ボタンを押下すると下図のような確認画面が表示されるので、「OK」ボタンを押します。



下図のようなメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。



下図のように「コンテナ大」が表示されません。



画面上部の「不使用」ボタンを押します。



下図のように、不使用機械・器具を含めた一覧が表示されます。

不使用機械・器具の記録(行)の左端には下図のような印が表示されます。

※再度「使用」ボタンを押すと、不使用使用機械・器具を含めずに表が表示されます。

機械器貝名	メーカー	数量	作業内容	所有区分	有機区分	保管場所	備考
トラクター	クボタ	1	除草,施肥,収穫	所有	有機専用	施設1	×
ポリタンク		2	散水	所有	有機専用	施設2	×
插種模	スズテック	1	插種	共同	有機専用	施設1	×
動力噴霜器	工進	1	施肥	共同	有機専用	施設2	×
221-7810a	ホング	1	##5	借用	有與專用	1510-2	v
コンテナ大		1	収穫	所有	有機専用		×

「コンテナ大」を不使用機械・器具から使用している機械・器具に戻す場合、下図のように「コンテナ大」を選択して画面下部の「編集」ボタンを押します。

(※ダブルクリックしても戻すことができます。)

下図のような確認画面が表示されるので、「OK」ボタンを押します。



下図のようなメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。



※「不使用」「使用」ボタンが表示される場合は、不使用の記録(行)がある場合だけです。

# 11.7 バックアップ・復元

下図は設定画面です。

設定画面では、赤枠のバックアップ機能と復元機能を使用することができます。

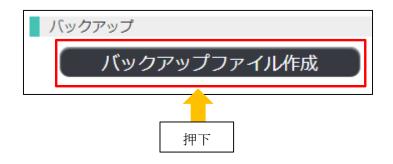
万が一、機械が故障してデータが無くなった場合に備え、データの複製を作成し、復元することができます。

※設定画面については、33ページを参照してください。



(1) バックアップファイルを作成します。

下図のように「バックアップファイル作成」ボタンを押します。



下図のような参照画面が表示されるので、バックアップファイル(複製)を保存するフォルダを選択して「OK」ボタンを押します。



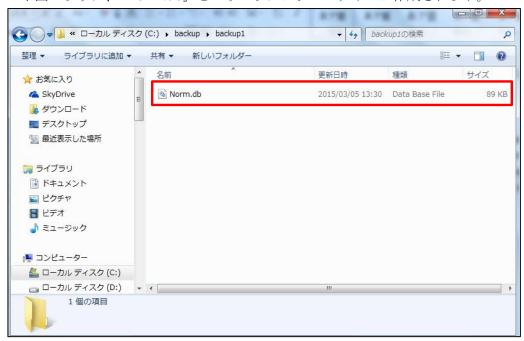
※Cドライブに直接保存することはできません。



下図のようなメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。

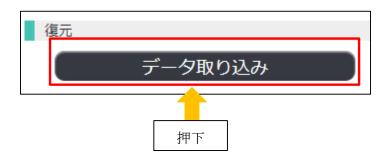


下図のように、「Norm.db」というバックアップファイルが作成されます。

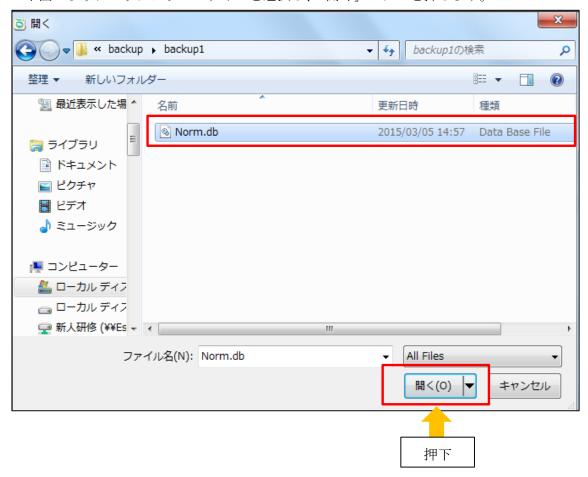


# (2) データを復元します。

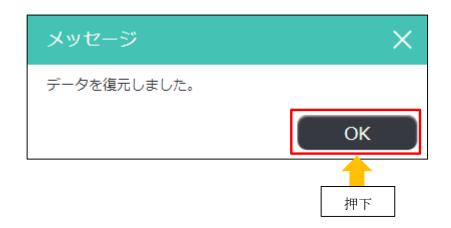
下図のように「データ取り込み」ボタンを押します。



下図のようにバックアップファイルを選択し、「開く」ボタンを押します。



下図のようなメッセージが標示されるので「OK」ボタンを押します。 これでデータの復元が完了します。



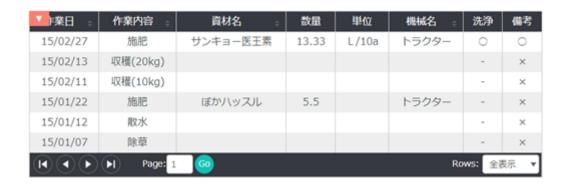
#### 11.8 キーボード操作

キーボードを使用して、以下の3つを操作することができます。

- ① 表の記録(行)を選択する
- ② 画面下部のボタンを押す
- ③ 編集画面を閉じる
- ① 表の記録(行)を選択します。

キーボードの「Shift」キーを押すと下図のように表示されます。

「Shift」キーを押したまま、「↑」キーと「↓」キーを押して記録(行)を選択します。



② 画面上部のボタンを押します。 キーボードの「Shift」キーを押すと下図のように表示されます。



上図のように、画面下部の各ボタンに「F1」「F2」等と表示されます。

「Shift」キーを押したまま、「F1」キーや「F2」キーを押して各ボタンを押すことができます。

# ③ 編集画面を閉じます。

編集画面を表示させ、キーボードの「Shift」キーを押すと下図のように表示されます。

「Shift」キーを押したまま、「Delete」キーを押して編集画面を閉じることができます。



# 11.9 記録期間一括入力

「生産管理記録」、「出庫格付管理記録」、「収穫管理」、「格付記録」、「出荷記録」、「調製記録」、「JAS マーク管理記録」画面にはそれぞれ右上に記録期間の入力欄があります。開始日付と完了日付を入力することで表示されている表の内容を絞り込むことができます。

設定画面の記録期間に開始日付と完了日付を入力すると各画面の記録期間が一括で入力 されます。



#### 11.10 10a 換算の初期値設定

生産管理記録で資材の使用量を入力する場合 10a あたり換算するかどうかを選択できます。設定画面の以下のチェックボックスを選択しておくと、生産管理記録編集時には常に「10a あたり換算する」が選択された状態になります。

# ■ 10aあたり換算 ■ 生産管理記録で入力する「10aあたりに換算する」を初期値として選択状態にする場合はチェックしてください

#### 11.11 調製記録

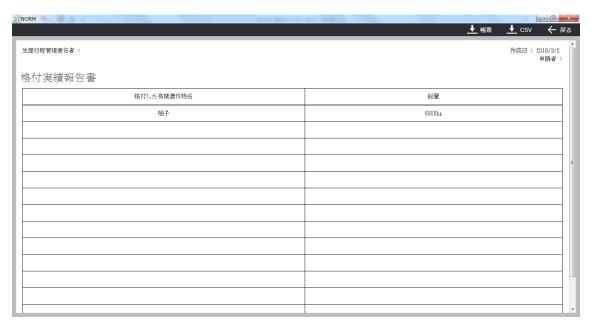
収穫物の調製を行う場合、調製記録画面を表示する必要があります。調製記録を表示する には設定画面の以下のチェックボックスを選択してください。



# 11.12 格付実績

設定画面の格付実績ボタンを選択することで、格付けを行った総量を表示することができます。





#### 11.13 データ取り込み機能

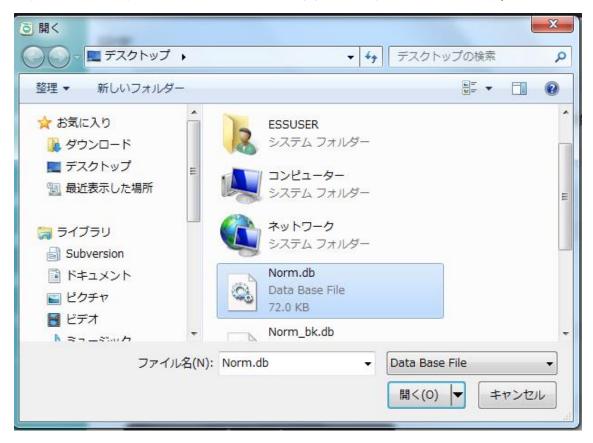
データ取り込み機能では他の NORM 使用者の生産管理記録を取り込むことができます。 以下に手順を示します。

(1) データベースファイルを取得する

設定画面の「データ取り込み」ボタンを選択します。



ファイルの選択画面が表示されるので取込む対象の db ファイルを選択します。



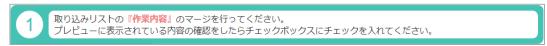
※db ファイルはバックアップ機能を使用することで作成することができます (p128)。取込む対象の生産管理記録を作成している NORM で db ファイルを作成して、USB メモリやメール等を経由して自身の PC に取込むようにしてください。

(2)「生産(育苗)管理記録取込」画面

db ファイルを選択すると、「生産(育苗)管理記録取込」画面が表示されます。



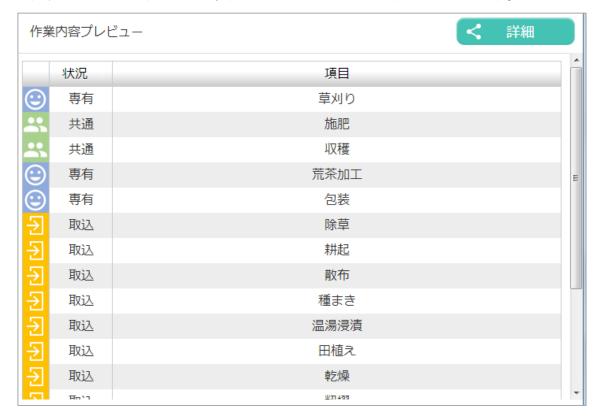
画面上部には次に何を行ったらいいかメッセージが表示されます。



画面右側には取込む対象の一覧が表示される「取り込みリスト」が表示されます。



画面右側にはマージする項目の状況が示されたプレビュー画面が表示されます。



状況は以下の内容になっています。

・共通 ・・・ 自身のデータにも、取り込み対象のデータにも両方存在している項目

・専有 ・・・ 自身のデータにのみ存在している項目

・取込 ・・・ 取り込み対象のデータにのみ存在している項目

この取込み作業では、状況が「取込」となっているデータを対象に自身のデータに取込んでいきます。

#### (3) 作業内容取り込み

まず「作業内容」の取り込みを行います。プレビュー1 行目の「草刈り」が専有状態に 6 行目の「除草」が取込状態になっています。この状態で取り込みを実施すると、自身のデータに草刈りと除草の二つの作業内容が追加されることになります。



もし、草刈りと除草を同じ作業内容として扱いたい場合は「詳細」ボタンを押して調製を行います。



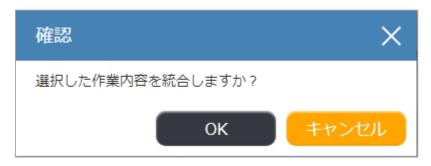
「取り込みデータ編集」画面が表示されます。



「草刈り」のチェックボックスと「除草」のチェックボックスを選択してください。



以下のメッセージが表示されるので「OK」ボタンを選択してください。



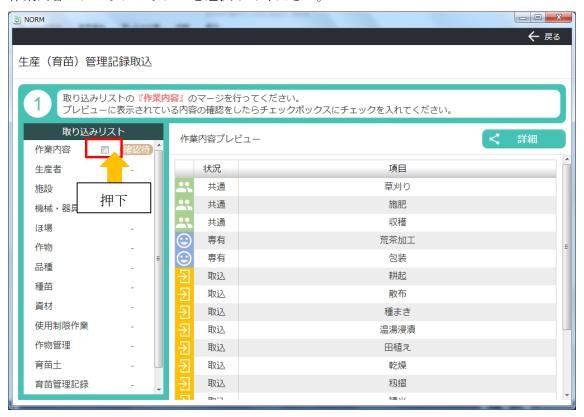
「除草」が「草刈り」に統合されました。以上の処理を行うことで、取り込みデータにあった「除草」を「草刈り」として扱うことができます。

結合	状況	作業名称
	共通	草刈り
	共通	施肥
	共通	収穫
	専有	荒茶加工
	専有	包装
	取込	耕起
	取込	散布

作業が完了したら「戻る」ボタンを選択してください。



作業内容のチェックボックスを選択してください。



生産者の取り込み待ち状態になります。



取込み状況を確認するには取り込みリストの各項目を選択します。



以下のように状況が取込だった項目が共通の項目に変更されています。



## (4) 作物管理の取り込み

取り込みリストの「作業内容」から「使用制限作業」までは作業内容と同様の方法で取り 込みを実施していきます。「作物管理」を行う場合以下のようなプレビュー画面が表示され ます。生産管理記録の作物管理を取り込む場合は区分が「生産」の「詳細」ボタンを選択し ます。



以下のように作物管理の一覧が表示されます。統合作業のやり方は「作業内容」と同様です。



育苗記録の作物管理を選択する場合は区分が「育苗」の「詳細」ボタンを選択して、統合を 行ってください。統合が完了したら「作物管理」のチェックボックスを選択してください。

作物管理 🔲 (確認待)

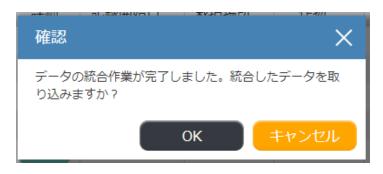
# (4) 育苗土、育苗管理記録、生産管理記録の取り込み

育苗士、育苗管理記録、生産管理記録はそれぞれプレビュー画面に作物管理の情報が表示されます。それぞれの作物管理に紐づく、育苗土、育苗管理記録、生産管理記録の統合作業を「詳細」ボタンを選択して、「取り込みデータの編集」画面で実施してください。また、下記のように詳細の列に「・」が表示されているものは「専有」状態の作物管理記録であるため統合作業が不要なため「詳細」ボタンが選択できないようになっています。



## (5) 統合データの取り込み

取り込みリストの「生産管理記録」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンを選択すると、統合したデータが取込まれます。



また、「キャンセル」ボタンを選択すると、以下のように表示されます。



「詳細」ボタンが表示されていた場所に「取込」ボタンが表示されます。「取込」ボタンを 選択することで、再度統合データの取り込みを行うことができます。 各項目の統合状況を見直してやり直したい場合は、その項目のチェックボックスを再度選択すると選択された項目から取込み作業のやり直しを行うことができます。「ほ場」のチェックボックスを選択すると以下のメッセージが表示されます。



「OK」ボタンを選択すると再度ほ場から取り込みを開始できます。



また、途中で取り込みをやめる場合は画面上部の「戻る」ボタンを選択します。以下のような メッセージ が表示 されるので「OK」ボタンを選択します。



「設定」画面が表示されます。自身のデータはデータ取り込みを行う前と同じ状態になって います。



#### 11.14 格付総量について

格付総量は収穫管理詳細画面右上に表示される情報です。格付を行った作物の総量が表示されます。

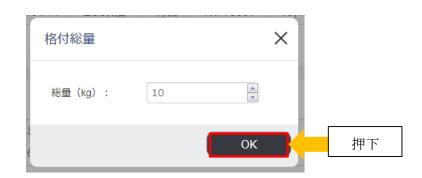
たとえば収穫量が 100 kg の収穫物に対して 2 日にわけて 50 kg ずつ格付けを行った場合 の格付総量は 100 kg になります。また 1 度格付けを行った収穫物に対して再度格付を行う 場合は格付総量には加算されません。つまり 100 kg の収穫物を全量格付けした後に、同じ 収穫物に対して格付けをしても格付総量は 100 kg となります。

格付総量を編集する場合は以下のように行います。

(1) 「総量」ボタンを押します。



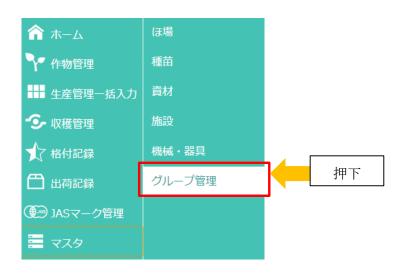
(2) 格付総量の編集画面が表示されるので、総量に値を入力して「OK」ボタンを押します。



## 11.15 グループ管理について

グループ管理の機能を使用すると作業内容をグループごとに使い分けることが可能です。 以下に使用例を示します。

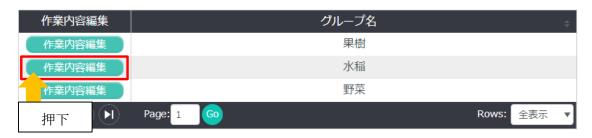
まず、「グループ管理」画面を表示します。メニューの「マスタ」を選択し、メニューの 横に表示される項目から「グループ管理」を選択します。



「グループ管理」画面が表示されます。いくつかのグループが登録されている状態です。



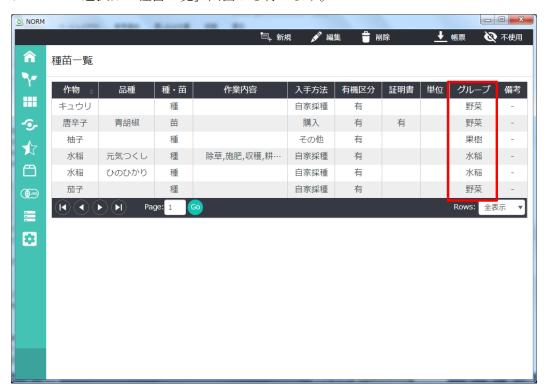
表の「水稲」の「作業内容編集」ボタンを選択します。



「作業内容編集」画面が表示されます。作業内容は「除草」、「施肥」、「収穫」、「耕起」、「散布」、「種まき」、「温湯浸漬」、「田植え」が選択されています。「作業内容編集」画面でチェックボックスがチェックされた状態になっているものが、そのグループから使用できる作業内容になります。



グループの選択は「種苗一覧」画面から行います。



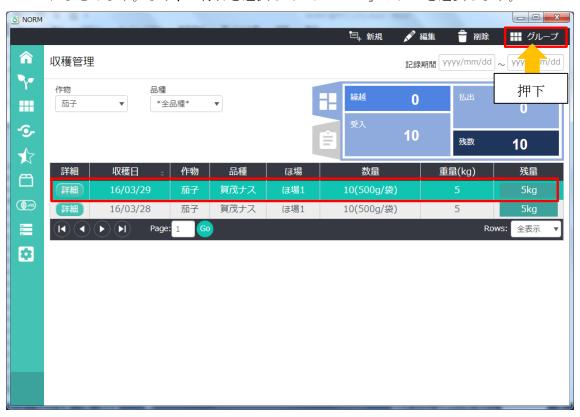
「水稲」グループに属している種苗を「作物管理」画面で登録して、生産管理記録を作成すると、「作業内容編集」画面で選択した作業内容だけが編集画面から選択できるようになります。



# 11.16 収穫記録の一括管理

収穫管理画面で複数の収穫記録を一つにまとめて、格付出荷することが可能です。以下に 使用例を示します。

2016/03/29 に収穫された茄子の記録と 2016/03/28 に収穫された茄子の記録を一つのグループにまとめます。まず、1 行目を選択して「グループ」ボタンを選択します。



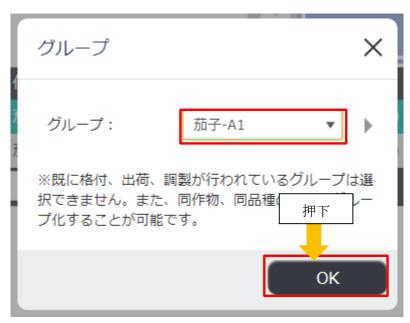
下記のようにグループ編集画面が表示されます。



グループ横の矢印ボタンを選択して、「茄子-A1」というグループを追加します。



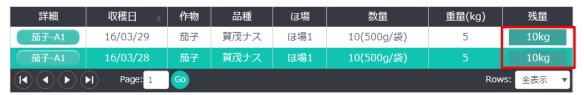
グループに「茄子·A1」を指定して「OK」ボタンを選択します。



1行目のボタンの情報が「茄子-A1」に変更されます。

詳細	収穫日 💠	作物	品種	ほ場	数量	重量(kg)	残量
茄子-A1	16/03/29	茄子	賀茂ナス	ほ場1	10(500g/袋)	5	5kg
詳細	16/03/28	茄子	賀茂ナス	(ま場1	10(500g/袋)	5	5kg
I ◆ ◆ Page:   1   Go     Rows:   全表示							

同様に2行目も「茄子-A1」のグループに変更します。下記のようにボタンが両方とも「茄子-A1」と表示されるようになります。残量の表示は「茄子-A1」グループ全体での残量になるので1行目と2行目の重量の合計値が表示されます(10kg)。



格付と出荷の記録は詳細の「茄子-A1」ボタンを選択します。1 行目と 2 行目どちらを選択しても同じ画面を表示することができます。

